

議会活動の在り方検討特別委員会記録

招集（開催）年月日	令和6年3月14日（木）	
招集（開催）場所	岩美町役場 全員協議会室	
出席委員	田中克美委員長、宮本純一副委員長、橋本恒委員、升井祐子委員、森田洋子委員、吉田保雄委員、田中伸吾委員、寺垣智章委員、川口耕司委員、柳正敏委員、澤治樹委員（副議長）	
欠席委員	なし	
議長の出席	あり	
職務出席者	浜野議会事務局長	
傍聴者	なし	
開会	11時01分	
記録者	議会事務局 宮内書記	
調査事項	別紙日程表のとおり	
協 議 の 経 過		
日程	発言者	内 容
開会	田中克美委員長	*起立、礼 始める。 足立議長あいさつをお願いします。
あいさつ	足立議長	進行してほしい。
協議事項 (1)	田中克美委員長	協議事項に入る。 協議事項は前回と同様だ。最初の鳥取県東部地区特別職報酬等審議会についてだ。実は昨日、いろいろとこの報酬審議会の状況をインターネットで調べているときに、八頭町が町の特別職報酬審議会に、去年の12月26日付で吉田町長が議員および監査委員の報酬額について諮問をしていて、2月7日付で答申を受けているということが分かった。 これは、今回我々のこの議会活動の在り方検討特別委員会で東部地区の報酬審議会について議論する前提が変わってしまったと考えざるを得ないので、岩美町議会としての足立議長の対応も含めて、私の発言の後、足立議長から発言をもらい、本日のこの（1）の協議事項については終わりにしたいと思う。足立議長お願いします。
	足立議長	根底はこれからの報酬審議会をどうするかという提案だ。田中克美委員長が言われるのも事実だと思われるが、今後の報酬審議会を東部で一つにしてはどうかというのが東部議長会の提案だ。 それで、今田中克美委員長が言われたことを含めて、早急に東部議長会を開いていただいて、皆の意見を聞いた中で今の岩美の考え方を言おうと思っているわけだが、あくまでも、この議会活動の在り方検討特別委員会で決めたことをもって、岩美町議会の意見としたいと思っている。ただ、前回

		<p>も言ったように、おそらく、県内の17ある町村は、私が聞いている範囲内は、中部、西部はもう既に一つの審議会ということになっている。</p> <p>それで、今の情報だが、今月の28日に、東部の町村会が開かれる予定で、岩美の長戸町長も、議会の動きも参考にしながらおそらく発言をされると思うが、できるならば28日までに、東部議長会の意見を一つにまとめたいと思われているので、できるならば早い時期に岩美町議会の考え方もまとめてほしい。</p> <p>私はどうしても東部議長会、県議長会の考え方でないといけなという考えはないが、できるならば皆の意見を一つにまとめてほしい。その方向でいきたいと思うのでよろしくお願いする。</p>
	田中克美委員長	<p>今足立議長から発言があったが、特に何か足立議長なり私なりに質問があれば受け付けるが、きょうのところは、先ほど言ったように、(1)の協議事項についてはこれで終わりにするというので、28日の町村会の会議までに、臨時の東部議長会を要請してされるということで、それを受けて、この議会活動の在り方検討特別委員会を再度、この件について開くということにしたいと思うので、議長会の日程も踏まえてまた日程は提案したいと思う。</p> <p>それでよろしいか、足立議長。</p>
	足立議長	はい。
	田中克美委員長	何か今のことについて質問があるか。
	澤委員(副議長)	<p>3月議会に、江府、日野、日南、琴浦の町議会が既に条例として上程されている。それぞれ全部会期が22日までだ。だから来週が終われば、それぞれの議会の様子が全部分かってくる。そういうことがあるので、我々も会期が終わるのだから、この東部の審議会にお願いするかどうかというのを、皆の意見を聞いて決めればよいと思う。</p>
	田中克美委員長	<p>分かった。</p> <p>鳥取県内の状況はそういうことなのだが、全国の都道府県の中で、そういう広域の審議会をやっているところがあるかどうか、昨日相当時間をかけて調べたが全然当たらなかった。今のところ分かっている状況では、広域の審議会があるのは鳥取県だけだ、ということも情報として私の方から提供したい。</p> <p>他にあるか。</p>
	柳委員	<p>きょうこの場をもって、岩美町議会として報酬審議会を単独で設置を行って審議をかけていくのか、それとも町村会からの提案があった方をもって向かうのか、ということを確認しないのか。</p>
	田中克美委員長	きょうはしない。冒頭言ったように、町村会が28日で、

		<p>長戸町長もこれまでの町村会での吉田町長の話の踏まえて、そういう流れに乗っているわけだ。だが、実際に吉田町長は、八頭町では審議会に諮問をしている。それで答申を受けているというような事情もあって、改めて経過等も含めて聞くと。それが28日なので、岩美町の対応としてはそれを踏まえて、ということなので、我々としては先ほど足立議長が言われたように、議長会にも事実確認等々も含めてはっきりさせると。今まで知らなかったこともあるので、その情報も我々に提供してもらった上で判断をするというふうにした。だからきょうはしない。</p>
	柳委員	<p>議長会では足立議長が考えを発言される場でもあるだろうし、一定の皆の考えを持っておこななくても大丈夫なのかと僕の気持ちとしては思う。ただ聞くだけ、説明等々を受けるだけで、足立議長は物足りるのかなと。出席する以上、議長会で報酬審議会について、うちの岩美町議会としては概ねこういう考えで進めたいというのを持ち合わせなくて大丈夫なのかと思うのだが。</p> <p>大体どういうふうな方向で、単独で進めるのか、東部で進めるのかというのは聞いてもいいかなと思った、ということなのだが、...</p>
	田中克美委員長	<p>それも含めて、先ほどのスケジュールの中で議論して決めたい。大前提で、我々議会活動の在り方検討特別委員会としてはもう既に方向を出している。</p>
	澤委員（副議長）	<p>また新たな方向が出ているのだから。</p>
	田中克美委員長	<p>だからそれで臨んでもらえばいい。それにこだわるという話を足立議長はしているのではなくて、岩美町はこういう方向で今まで来ていると。だから、あと3町の意向に沿えないこともあり得るということは、足立議長は述べている。</p>
	澤委員（副議長）	<p>だからそれを今回ここで結論を出してもらえば、はっきり言えるだろう。</p>
	田中克美委員長	<p>私が異議を唱えたのは、そもそも聞いていた話と違うということだ。3町とも報酬審議会を持っている。3町とも無いと思っていたらある。そしてさらに私が「え、何」と思ったのは、冒頭言ったように「東部4町で報酬審議会を設けましょう」と言っている当のご本人が、12月に報酬審議会に諮問しているのだ。これって何なの、と。八頭町がもう既に諮問しているということは、東部4町の議長の話し合いのときに足立議長も聞いていない。これは前提が違うということだと私は思っている。だから議論はできないと。</p>
	柳委員	<p>僕が心配するのは、こうすべきだとかいう最終決定版ではなくして、現状の変化を目の当たりにする中であって、今後将来的にどういうふうを考えておられるか、というぐらいの意見は別に今言えますよ、ということをやったのであつ</p>

		て。ここは田中克美委員長の采配なので次回もう1回聞くと 言われるならそれでいいが、僕は足立議長が議長会に出席さ れて、自分のところの議会のそれぞれの議員の思いも把握せ ずに出られることが申し訳ないと思って、申し上げさせても らっただけだ。
	田中克美委員長	もう一つ、今まで皆さんが同意されてきたことを、違った ことをするという事は、要するに覆す人が現れてくるとい う話だ。足立議長が議長会なり、長戸町長が町村会なりでい ろんな事実確認も含めてやった上で、その情報も我々に提供 してもらった上で議論をするということで、意見を述べても らうだけだと、これまでに合意して町民にも公表している方 向について違ったことをやろうということになったら、私は もうとてもじゃないがこの場に居られない。議論した上でな いと、それは、私は認めることはできない。
	澤委員（副議長）	今言われた八頭町議会は、審議会は町に答申しているわけ だろう。
	田中克美委員長	町長が諮問しているからだ。
	澤委員（副議長）	議会が町に、、、。
	田中克美委員長	町長が議員の報酬も含めて諮問しているから。どこもそう だ。私も全国いろいろ何十も調べたが、大体諮問者は町長 だ。
	澤委員（副議長）	意見を遮ったら駄目だ。ちゃんと意見を聞いてから言っ てもらわないと。 審議会が町に2月7日に答申している。それを受けて八頭 町の吉田町長が東部の審議会を立ち上げたらどうかと言われ ているのだろう。
	田中克美委員長	だからおかしいと言っている。
	澤委員（副議長）	2月の新聞記事は違うのか。2月7日に八頭町議会議員の 報酬2万円の引き上げを審議会は町に答申しているとある。 町に。
	田中克美委員長	町長にだ。八頭町長吉田秀人様になっている。 答申は当たり前だそれは。
	澤委員（副議長）	おそらく議長会で言われているのは、これを受けて、吉田 町長は東部の審議会を立ち上げたらどうかということと言っ ておられるのだろう。
	田中克美委員長	だから、町長が諮問しているから、町長に向けて答申が出 ているわけだ。何が言いたいかわからない。
	足立議長	ちょっといいか。 次回、必ず結論を出してもらおうということで、両方に一理 ある意見だと思うからこう言っている。というのは田中克美 委員長から言われたことで、我々も議長会の中で出てきてい ない話題が多々あるので、その辺も議長会の中でも質し、聞

		<p>いてくるが、ただ、僕が次の議長会に出るのは、現状もう少しきちんと皆に説明できるような情報を得てきたいということだけだ。</p> <p>それで、田中克美委員長と僕との違いは、東部議長会が今提案しているのは、これまでのことではなく、これからは1町村の審議会ではなくて4町で一つの審議会にしてはどうかという提案を各4町にしようかということだけであって、これまでのことではなくて、これからのことだ。田中克美委員長との違いはそこだ。</p> <p>この場の折衷案として、次回必ず岩美町議会としての意見を決めるということで、きょうのところは収めていただけないか。</p> <p>柳委員が言われるように、本当は次の議長会に出るのに町の考え方を決めて出たい。だが、田中克美委員長のような意見もあるので、次回必ず岩美町議会としての考え方を決めてもらうということで、どうか。</p>
	田中克美委員長	この問題を議論しないと言っているのではなくて、そういう情報を踏まえて、次のときにするということだ。
	足立議長	私が提案した中身が不十分だったということにしてほしい。それで、次回必ず結論を出していただくと。その代わりに私ももう少し十分聞いてくるので、その辺のところを理解して、きょうのところはそれで収めてほしい。よろしく願います。
	田中克美委員長	よろしいか。
	皆	よい。
協議事項 (2)	田中克美委員長	<p>しっかり次のときに意見を戦わせよう。</p> <p>それでは、2番目の政策活動の今後の取り組みについてだ。私の方から提案も含めてだ。改めて議会だよりに載せた流れ図をつけているが、この中で1年に2回、具体的には5月、実際には多分5月から6月のかかりぐらいいまになると思うが、それと11月、町の予算編成方針が出る前という意味だと思うが、先行している会津若松市議会も多分そうだと思うが、5月それから11月の2回、地区別の意見交換会をまず実施すると。</p> <p>9地区を9回するのか、例えば浦富みたいなところを二つとか三つに分けるのか、それは後でまた議論しなければならないと思う。議員としては、各常任委員会単位ではなくて常任委員会から3人ずつで一つの班にして、2班設けてはどうかと。</p> <p>それから政策提言ということで、前はテーマを決めてみたいなことを私は話していたが、考えてみれば政策活動なので、もう何が出てくるかは分からないが、何でもありということで、聞いたものを我々が仕分けするという作業をすればいい</p>

		い。議会のことであっても、町の財政や生活環境とか健康や、資料ではここが句点になっているがこれは中点だ。健康・福祉・医療の問題とか、産業、建設やまちづくりとか学校・社会教育、文化、それからそれぞれの地域の特有の課題とか、何でもありということで意見交換をするということだ。発言しやすい工夫なども必要だと思うので、そうした運営の詰めの検討を、最近は何でも小委員会で申し訳ないが、...
		※「もういい」の声あり。
	田中克美委員長	<p>いや、小委員会とつげなくてもいいが、議会活動の在り方検討特別委員会と各常任委員会の正副委員長で。ここで全体12人でしても大変なので、それをやるということをしたいと思う。</p> <p>最初の5月の開催について、具体的には自治会長会に相談をかけて、どういうスケジュールでやるかということをしたいと思うが、それでその相談を踏まえて、町民の皆さんに案内をすると。</p> <p>一つ提案したいのは、意見交換会を成功させるための心構えややり方の勉強会を計画してはどうかと思っている。資料には土山教授を挙げているが。</p> <p>それからもう一つ提案していた月単位での常任委員会の定例的な開催だ。これは前回も出ていたが、町当局や病院などと具体的に相談をしていかなければならないと思うので、それをやっていただきたいと思うのだが、常任委員会で。</p> <p>当面の取り組みとして考えたのは、4月から始めるということにして、令和6年度の新規事業について、担当する職員からその職員の思いも含めてもっと突っ込んだ話を聞き、意見交換するということからスタートしてはどうかというふうに思っている。当面これを提案して、町当局や病院とどんなふうにやっていくのかということ相談するというのを皆に提案したいのだが、意見を聞かせてほしい。忙しくなるが。</p>
	澤委員（副議長）	勉強会の講師について、土山先生の色に染まる必要はないと思うので、他の講師を迎えた方がいい。そうしないと偏ってしまう可能性がある。
	田中克美委員長	提案していただければ。誰がいいか。
		* 田中伸吾委員 11時28分退出
	澤委員（副議長）	土山先生以外がいい。
	田中克美委員長	だから提案してほしい。調べていただきたい。
	澤委員（副議長）	それは今までだって議員が調べたわけじゃないだろう。誰をとという固有名詞を出して、「他の人がいいです」という言い方を今までしているわけじゃないだろう。

	田中克美委員長	いや誰も提案されていなかった。
	澤委員（副議長）	土山先生って出してあるから。
	田中克美委員長	今まで誰もその他の名前を出されてないということだ。 私は責任があるから、その立場から提案している。
		* 田中伸吾委員 11時29分入室
	澤委員（副議長）	だから一つの意見に偏る必要はないから、別の先生の意見も聞きたいということだ。
	田中克美委員長	だから提案してほしいと言っているのだが。私に提案というより皆に諮るわけだから、澤委員がいろいろ調べてこられて、この先生からこういう話を聞きたいということを提案していただければ、それを皆と議論して、そちらの方がいいということになってその先生にアポを取ることになると思う。
	澤委員（副議長）	他には先生の候補は無いのか。
	田中克美委員長	私にそれを聞かないでほしい。
	澤委員（副議長）	議会事務局に聞いている。
	田中克美委員長	議会事務局の話じゃないだろう。我々がそれぞれ考える話だ。 それは情報をいろいろ調べていただきたい。
	足立議長	これにこだわらずに。
	田中克美委員長	私は別に土山先生にこだわっているわけではなくて、せっかく繋がっているから活用を継続したいということであって、それが偏るとか偏らないとかという考えは全然無い。土山先生にするかどうかは別にして、それに今もう3月なので、実際に応えていただけるかどうかということもあるわけだが、そういう意味で言うと、我々自身が4月からその心構えも含めて乗り出したい、そのためのきっかけにしたいというふうに思って提案している。学習会を行ってはどうかと。賛同していただければ、いろいろ手を尽くしてみたいということなのだがどうか。
	柳委員	今更ながらと聞かれるかもわからないが、僕の意見として、住民との更なる協議の場、議論の場を作るというのは僕もずっとやりましょうという意見で大賛成だ。そのやり方、ノウハウも含めて、土山先生でありいろんな講師の先生のご意見を伺う、ご指導いただくというのも、そこまでは大賛成だ。 それで、この意見交換会自体が、政策に生かすということが根底にあるわけだけれども、僕の意見では、出向かない方がいいと思う。例えば自治会長会に今後こういうことをやるという相談をかけながら、連携しながら取り組むのはいいが、アウェーに行かずに、会議室を使って集まってもらうだとかの方がいい。出向くと収拾がつかなくなる。例えば地域

		に出るだとか、もしもそういう発想があるならば出向かない方がいい。
	田中克美委員長	意見交換もか。
	柳委員	<p>そうだ。例えば僕は、何回も言ってきたことだが、議会としてきちっと形が整うまで、組織として動けるような形がきちっと確定できるまで、各常任委員会でそれぞれ意見交換会を数度行ってきたが、これをもう少し応用させて上手に展開できる技術を持ってからで僕は十分だと思う。なので今やることは、各常任委員会で専門の、例えば総務教育常任委員会なら教育関係者を呼んで、今後の教育のあり方について、体育指導について聞きたいだとか、そういった形をもっともっと展開される中で、自分達に実力を付けて出るのならいいのだけども、出たら收拾がつかないと僕は思うし、基本的には、どの方のどの組織の意見も聞きますという前提にあって、各常任委員会で呼ばればいいと思う。例えばということで先ほど申し上げたが、総務教育常任委員会であれば教育なら教育、商工なら商工の関係者、そういった形で、例えば教育の何々というテーマを掲げれば、それを半年の間に2回3回重ねてもいいと思う。</p> <p>出向いて聞いて、それを政策に活かせるかどうか。生かすために出向くのだがそれは議員活動でもされている話であるし。逆に收拾がつかなくなる。担当常任委員会という6名が構成を組まれたきちんとした組織があるわけなので、この常任委員会というシステムを、まずきちんと確定させて使うべきだと思う。外に出て、ましてや2班に分けてということで、こちらの班の思うことと違ったことを言った場合、聞いてきた場合がやっぱり僕は無責任になると思う。</p> <p>僕はアウェーではなくて、議会のこの庁舎にお招きをして、皆さんの本当に忌憚ない意見を聞かせていただくという丁寧な姿勢をもって、意見交換会を始めていくべきだと思う。良い格好して出向いたけど何もならなかったということになりかねない。これは昔からあった事実で、予算権提案権がないのに、いろんなことで結局、これもやれあれもやれという、そういった会になりかねないということがあるので、担当常任委員会として会を重ねて、もう少し実力を付けられてからの方がいいと思う。</p> <p>だから今やることは、担当常任委員会でそれぞれの所管ごとの政策を絞って、産業福祉常任委員会であれば福祉なら福祉の関係の方だとか、そういったことでしっかりと意見交換会を住民とやればいいと思う。それが最近ずっとやられてないからよくないと思っているのだが、ということだけ申し上げる。</p>
	田中克美委員長	柳委員が言った中身は実はこの流れ図の中に入っている。

		<p>今までも説明してきたとおり。意見交換というのは意見を聞かせてもらう。そこで何か回答するわけでもない。もちろん参加している議員が、自分の個人的な見解で議論するのはそれはそれでいい。ただ、あくまでも意見を集約する。それで、それを我々自身でこれはどういう分野に関わる課題、問題か、発言かというのを仕分けする。ここに書いてある政策検討会というのは、常任委員会だ。仕分けをして、常任委員会の中でそれを例えば政策として取り上げる場合、あるいはどんなふうな問題として掘むか、認識するかということも含めて、常任委員会でその政策検討会として、勉強会をしたり、専門家の話を聞いたり、それから町民の関係する人たちに来てもらって、意見交換するとか、ということがこの中に入っているわけだ。</p> <p>それから当然常任委員会としてやるのは、何も町民との意見交換会で聞いた話だけではない。それぞれの常任委員会の問題意識から継続してするものもある。それから、例えば提案したような定例の常任委員会をやる中で、あるいは誰かが一般質問したり質疑したりした問題の中から、そういう課題が出てくるかもしれない。それを常任委員会として専門的に追及するというのはいりだ。</p> <p>あくまでもここに書いているのは、一つの方向として、町民との意見交換会を通して掘んだものはこうするということだ。だからそれ以外のやつはやらないということではないということだ。もちろん。</p>
	柳委員	田中委員長の発想を否定するものではない、賛同している。けども、...
	田中克美委員長	あなたの言っていることは否定してない。
	柳委員	<p>否定してない。田中克美委員長の発想も、議会はこうあるべきだというのは、特に町村議会というのは住民との接点が多いわけだから、僕は大事だと思うのだけど、絵に描いた餅にならないようにということと、今言ったことを実現しようと思うと、議員が非常勤では済まなくなる。365日ずっと討議しないとこんなことはできないと思う。だから、それは住民に対して無責任な行動になってしまうから、僕が申し上げているのは、いちいちここで担当常任委員会を分けなくても、まずは2年3年の積み重ねでずっとやっておられるのが事実だから、担当常任委員会で所管ごとの問題でテーマを絞ってその方をお招きして、実はここは何でも喋っていいところなんですよということで、本当に忌憚のない意見交換会をずっと積み重ねていった方がいいと思う。</p> <p>今のこの説明はとっても大事なことだと思うし、田中克美委員長の発想も十分理解はできているのだけど、これをやろうと思ったら、月に1回2回とかでは済まないようになる。</p>

		週に3回4回議会に上がって、いわゆる常勤の議員にならないとできる仕事じゃないと思うから、そんな無責任なことをすると、僕は住民に対して失礼だから、まずできることをきちっとやりましょうと。今やってないことがあるということを示した通り、担当常任委員会がこうして正式にあるのに、担当常任委員会の活動はまだ3割も僕は活用できてないと思っているから。そういう話をさせてもらった。
	田中克美委員長	そのきっかけにしたいということだ。私の発想は。
	柳委員	思いを10展開しようとする、常勤議員にならないとできないと思う、という話だ。
	田中克美委員長	常勤ぐらいになる可能性はある。それができるかできないかじゃない。もう調整するしかない。
	柳委員	田中克美委員長は賢いから、自分で出られているような意見を集約してそれを振るい分けをして、担当常任委員会にまた振るい分けをしてそれを調べて、と田中克美委員長独自でも365日かかる仕事を、皆の意見も調整しながらとなったら、1年が700何日いるぐらい、それぐらいの常勤議員にならないと勤め上げられないような仕事だと、僕は心配している。
	田中克美委員長	心配はありがたいが、...
	柳委員	発想自体は、住民の意見をできるだけ拾い上げてというのは、それが本当は議会としても理想だ。 でもそれは個人の議員活動としてやる仕事と、議会という単位でやる仕事、委員会という単位でやる仕事と分けしないと1年365日で足りなくなると思う。できることをやりましょうという話だ。
	田中克美委員長	こんなことあんた達出来ないだろうと言われているような話になってしまっている。
	柳委員	そうではない。
	田中克美委員長	そう聞こえる。
	宮本副委員長	理解はしていると言われた。
	柳委員	常勤程度の庁舎への出席が必要だと思うけども、皆さんにその覚悟はありますか、というのを今問うてる話だ。 いい話だからやるべきだと思うのだけど、実をとるときに、本当に常勤ぐらいの忙しさがかかってくるということだ。田中克美委員長の意見を否定するのではない。大きく賛同しているのだが、心配しているという話だ。
	田中克美委員長	否定していないのは分かっている。
	宮本副委員長	工夫を重ねながらやってください、と。
	田中克美委員長	スタートしましょうということなのだが。 スタートしないことには始まらない。
	升井委員	はじめ、住民の意見を聞くというのは議員の本来あるべき

		<p>姿だと思って、そうだなと思ったが、やっぱりある程度こちらが実力をつけて、各常任委員会とかである程度勉強して実力をつけてから住民と向き合った方が、住民のためにもいいと思う。集まるからには、それだけの価値のある集まりにしたいし、段階として、先ほど柳委員が言われたように、各常任委員会で専門のある程度のことを自分たちも勉強したり、そういうものを持って、それで向かうという方がいいと思うし、やっぱり初めの段階は、アウェーではなくてというのは、それはすごくあるなと思った。というのが、地域の新年会とか何とかあるが、その時ももう収拾がつかないほど、皆がワーツと意見を言ったりするのを見ると、ある程度こちらが何かしら実力を持って段階を踏んでからがいいのではないかなと思う。</p> <p>田中克美委員長がこれからこの会でやろうとしていることは、実際にこれが議員の仕事だというのはよく分かっている、良いことだと思うが。</p>
	宮本副委員長	そのことは、田中克美委員長がこれを立ち上げたときの冒頭に言ったことだ。問われますよと。一生懸命言われていた。それでまたブレーキを踏まれるのか。
	升井委員	やっぱりそういう専門、教育なら教育の、例えば働き方の話でも実際の現場はどうだとか、腹を割って話をして実際のことを知らないと、理想論とかそんなことを言っても、というところがある。
	田中克美委員長	この最初の意見交換会は、意見交換という言葉になっているが、主は聞くことだ。聞かせてもらうこと。答える場所ではない。収拾がつかないということはない。聞いて、それを検討しますと言えば済む話だ。そういう意味で言うと簡単だ。
	升井委員	大体こいつ分かってないなという、なんとなく中身が無いオーラが出て、...
	田中克美委員長	<p>そんなことはない。聞くということがそもそも勉強のスタートだ。それで、聞いて常任委員会でそれを議論する。そもそも仕分けの段階からそれなりの知識がないと、仕分けができない問題も多分たくさん出てくると思う。だけどそういうものも、仕分けできなければ両方がすればいいぐらいの考えで臨めばいい。そういう作業をしながら、我々自身の力を、知識や能力を高めていこうという話だ。野村監督の言った好きな言葉があるが、彼は監督だったから「やりながら育てる」という言い方をしていたが、やりながら育つということだ。やりながらでないと育たない。</p> <p>毎月意見交換するわけじゃないから、それだけではやっぱり私は足りないと思っているが、ただその後で、いろいろ検討会はするがそれとは別に、これも時間がかかって大変だ</p>

		が、橋本委員から定例の常任委員会をという話があったので、それも、我々の知識や能力を高めるために使いたいと思っている。だから政策活動の流れ図のやつと、それからこの中には、意見交換で聞いた話だけではなくて、先ほどもちょっと言ったが、...
	足立議長	ちょっといいか。 休憩時間の話と、正式な委員会での中の意見と、やっぱりその辺を考えながら発言しないといけない。
	田中克美委員長	それは分けなくてもいいと思っているが、...
	足立議長	皆、悪いけど全部録音されている。そういうことも含めて、会合が進むようにしよう。進めて。
	田中克美委員長	はい、今の議論を進めるためには必要だと思っているので。
	澤委員（副議長）	皆から意見を聞いてもらった方がいい。
	田中克美委員長	いや、ただ意見を出すだけでは先に進まない。だから私もいろいろ言うのだが。議論なので、意見を出してそれで終わりの会とは違うので。
	森田委員	地区別意見交換会の実施ということで、地区別の、例えば行政懇談会とか年に1回あると思うが、地区の方はそういうところでいろんなことを言う場があるというか、私が思うのは、意見交換会というのは、自分が自発的に参加される、以前中央公民館であったような感じで、やっぱり自分が意見を持っておられる方でないと、そういう地区に行っても、実際に発言されるのはごく限られた方だと思う。何でもどうぞと言ってもなかなか意見が出ないというのもあると思う。ましてや議員が行ったりすると、雰囲気も違うと思うし、であるならばそういう公共のところでも自分が参加して思うことを言いたいという人を集めて、意見を聞くという最初にしたようなやり方を。あの時は自分もびっくりしたがいろいろ意見が出たので。やっぱりいろんな意見を言おうと思って出られた方が発言される。分野も様々だったし、特定していなかったの。地区に出向いていくのはやがてはするにしても、議員としてはそういうやり方をやっていった方が私は前に進むのではないかと思う。
	田中克美委員長	要するに地区別は時期尚早だという意味か。 意味がよく分からないけど、当面は地区別はやらなくていいということか。
	森田委員	地区別でやるとなると、好きな方に参加してもらおうという形式になるのか。
	田中克美委員長	どれだって好きな方だ。
	森田委員	行政懇談会とかだと、区長など長たの方が出られる。そういう限られた方が集落から出て発言されるというか。誰でも

		参加するというふうになって果たして参加されるかということも含めて、地区別の意見交換会というのがどんな風になるのかなど。
	田中克美委員長	地区別というのは、その地域の方に、例えば「この地域では何月何日にやりますよ」と。その地区の近所の方だけでなく、他から来てもらってもいい。別にそれを制限はしない。それは自由だ。 よく分からないのだが、何を心配されているのか。
	森田委員	そこに参加される方はどういう方か。チラシか何かでご案内するということか。
	田中克美委員長	以前したのと同じだ。誰が参加してもいい。
	森田委員	そこが気になっていた。 他の自治体の方に話を聞いたときに、そういうようなやり方をしたら、人が来なかったというか、...
	足立議長	今日はもうやめよう、12時だし。
	寺垣委員	ちょっと1点だけ。概ね良いのだが、小委員会は別に小委員会でもいいのではという、意見だけ言わせてほしい。
	田中克美委員長	小委員会という名称をやめて、6人の正副委員長、...
	田中伸吾委員	そこはきちんとして、...
	澤委員（副議長）	今の小委員会の発言に関連してだが、議員報酬に関する小委員会があるが何をしているかが一つも見えない。どんなことがあったか決まったことの報告を出してもらわないと、議員報酬に関する小委員会に入っていない者には何も分からない。
	足立議長	今日はもう終わろうと言うのに。
	宮本副委員長	森田委員、小田で地区を限定してやった場合には、小田地区婦人会なども出てくれ、となる。いろんな人が来てくださということだ。ただエリアでやりながらという程度で、難しく考えずに。
	森田委員	私の意見としては、やっぱりそういうのでは、...
	田中克美委員長	そういうの、というのがよく分からない。
	柳委員	もう終わろう。きょうはもうこの程度にしよう。もう1回頭を整理してやろう。
	田中克美委員長	頭を整理して。これまでの資料を改めて読んで次回参加してほしい。そういう感じではない場面があるので。そうなるもまた私がいろいろ話をするようになって、足立議長から喋り過ぎだと言われるから、私がそんなに喋らなくてもいいようにしてほしい。
	足立議長	きょうの話題、柳委員が言われたことだが、本当に一番心配していたことだから。本当はそういうことを考えながら進んできていないといけない。

		だけどきよう結論は出ないだろう。
	田中克美委員長	次回はまた今月やるので。 (1)も(2)も継続審議ということで。
	澤委員(副議長)	議員報酬に関する小委員会は何をしているかさっぱり分からない。
	田中克美委員長	まだ報告する段になってないから報告してないだけの話だ。
閉会	田中克美委員長	以上で閉会する。 *起立、礼 11時58分閉会

上記のとおり会議の次第を記録し
これを証するため、ここに署名する

議会活動の在り方検討特別委員会委員長

田中克美